



2025 洞峰学園 つくば市立谷田部東中学校 グランドデザイン



【洞峰学園教育目標】
夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成
～「学びをつなぐ」×「人をつなぐ」小中一貫教育を通して～

＜本県教育目標＞

ひとりひとりの能力を開発
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し、
協力しあう心を育てる

【学校教育目標】

志をもち、心豊かにたくましく生きる生徒の育成
～未来を志向し、「夢の実現」に向けた小中一貫教育を通して～

つくば市の目指す 学園・学校像

みんなが幸せを実感
できる学園・学校

～自己実現できる学校・
みんなで支え合い、みんな
が生き生きとした学校～

【学校経営の方針】

共に学び、共に磨き、共に鍛え、共に育つ学校づくり
～非認知能力の育成を通して～

学 校 像

- 生徒が「夢に」向かって輝く学校
- 教師が「やりがい」をもてる学校
- 保護者や地域から「信頼」される学校

生 徒 像 【立志・共創・躍動】

- 自分の夢や可能性に意欲的に挑む生徒
- 心豊かに誠実に行動し、共に未来を創造できる生徒
- 健康で活気に満ち、いきいきと活動する生徒

教 師 像

- 熱意と愛情をもち生徒に寄り添う教師
- 指導力と実践力のある教師
- 未来を見つめ、改革意欲のある教師

◆保護者・地域の期待 ◆生徒の願い

- 安全・安心
- 学力向上
- 落ち着いた学校生活
- 進路実現
- 地域貢献
- 充実した学校生活
- 分かる授業
- 学びたくなる授業
- 心を許せる仲間
- 居場所のある学級

組織目標

- 未来を志向し、「能動的な学び」の具現化を図る授業づくり
- 一人一人が「自己決定」し、夢の実現に挑める集団づくり
- 安全で、安心して生活できる居場所づくり

2025教育の重点

- ◎「対話」を核とした教育活動
- ◎「谷東ログ」を活用した非認知能力の育成
～自分と向き合い、他者とつながり、自分を高める～
自己実現に向けたキャリア教育の推進

【スクール スローガン】

輝く未来 きらめく明日への挑戦
Active 谷東!
「時を守り 場を清め 礼を正す」

「未来型学力」プロジェクト

【重点目標】

- *「能動的な学び」への具現化を図る授業づくり
- ◆探究的・協働的な学びの実現に向けた授業づくり
- ・知的好奇心を高める課題の工夫
- ・インプット ⇒ 協働 ⇒ アウトプット ⇒ 振り返り を重視した PBL 学習の充実
- ・社会を意識する探究タイム（特設学習）
- ・地域資源を活用した魅力ある授業
- ◆ICT教育の推進
- ・思考を広げるための ICT の利活用
- ◆つくばスタイル科を核とした教科横断型の学習や STEAM 教育の推進
- ◆「教育支援計画」を活用した「切れ目のない」特別支援教育の充実

【数値目標◎80%以上○70%以上】

- ◎進んで授業に取り組み、自分の考えをもつ
- ◎友達との学び合いを課題解決に生かす
- 授業で「アウトプット」を大切にしている

「豊かさ・しなやかさ」プロジェクト

【重点目標】

- *互いを尊重し合える人間関係の醸成
- *「自己決定」できる集団づくり
- ◆9年間のつながりを意識した教育活動
- ・「夢を実現」する系統的なキャリア教育
- ◆自治能力の育成を目指す生徒会活動
- ・「R 研修会」を核とした自治的行事
- ・有志のよる生徒会活動「輝き隊」
- ・いじめゼロフォーラムの実施
- ◆柔軟な指導体制による道徳教育
- ◆共に創り上げる話し合い活動の充実
- ◆外部人材を活用した体験活動
- ◆5つの行動目標を生かした自主性・自律性の育成
- ◆「折れない心」の育成と組織を活かした教育相談体制の確立

【数値目標◎80%以上○70%以上】

- ◎相手の気持ちを考えて行動できる
- 「夢の実現」に挑もうとしている
- 自分には良いところがあると思う

「たくましさ」プロジェクト

【重点目標】

- *健康で安全な生活を送る体力づくり
- *安全・安心な環境づくり
- ◆体力向上プログラムの実施
- ・目的意識を持たせた体育の授業、部活動の充実
- ◆地域と学校の協働による文化・スポーツ活動（DCAA）
- ◆外部人材や家庭と連携した健康教育プログラムの充実
- ◆系統的な自己管理能力の育成
- ◆危機意識に基づく感染症対策
- ◆事故の未然防止と組織での迅速な初期対応
- ◆保護者・地域と連携した防災教育、安全教育、情報モラル教育等の充実

【数値目標◎80%以上△60%以上】

- ◎自分の健康や安全を考えて行動できる
- ◎心身ともに成長していると思う
- △体力テスト A+B

地域とともにある学校づくり

- 地域とともに歩む学校づくり
- ・地域、保護者との協働体制の構築（CS の導入）
- ・積極的な情報発信と学校評価の活用
- ・外部人材を活用した補充学習
- 大学・研究機関・企業との連携

RPDCA

学校評価

- 教職員の資質・能力の向上
- 「与えられる研修」⇒「求める研修」へ
- ・「学び連続性」を保障する学園研修
- ・業務の効率化を図る校務の DX 化
- ・教員評価を生かした資質・能力の向上

働き方改革の推進

- 【数値目標】超過勤務45時間／月以内～キャップ・カット・効率化～
- ・部活動地域連携事業
- ・末尾1hの有給休暇
- ・日課の工夫

コンプライアンス意識の醸成

- 【数値目標】不祥事「ゼロ」～自分たちの職場から不祥事を出さない～
- ・当事者意識を高める研修
- ・教員評価の活用
- ・組織的な相談体制